

平成 31 年度江田島市教育委員会 経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（体力、耐力、健康）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人一人が、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、平成 30 年度は発生していない。

（平成 28・29 年度も発生していない。）

○全国学力・学習状況調査の平均正答率(B問題)については、平成 30 年度は小学校及び中学校の全ての実施教科で全国平均を上回った。

（平成 29 年度全国学力・学習状況調査の平均正答率(B問題)については、小学校は全ての実施教科で全国平均を上回ったが、中学校は数学において全国平均を下回った。）

○生徒指導上の諸問題において、平成 30 年度不登校児童生徒の割合は、小学校 0.74%(6 人)、中学校 1.74%(7 人)である。

（平成 29 年度不登校児童生徒の割合 本市 小学校 0.12%(1 人)、中学校 2.73%(11 人)）

○「おいしい江田島の日給食」で使用した食材を全て答えられる児童生徒の割合 6%

【生涯学習】

○学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 30 年度来場者数は、学びの館 8,357 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,123 人である。

（平成 29 年度来場者数学びの館 9,161 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,111 人）

○スポーツセンターの平成 30 年度利用者数は 29,449 人で、その内、トレーニング室の利用者数は、7,723 人である。

（平成 29 年度利用者数 33,601 人、その内、トレーニング室の利用者数は、8,458 人）

○図書館の平成 30 年度年間貸出冊数は、99,548 冊である。（平成 29 年度 100,581 冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の 服務規律 の厳正確 保を図る。	教職員による 不祥事を0（ゼ ロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒 の学力の 向上を図 る。	習得した知 識・技能を活用 する力を向上 させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの变革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 ○ 学校訪問時に学力向上に係る取組状況を把握し、改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。 ○ 学力向上に係る先進校を各校の教員が視察する機会を設け、学びを広める場を設定する。
	児童生徒 の豊かな 心を育成 する。	不登校児童生 徒数を減少さ せる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校の未然防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制の充実が図られるよう指導助言を行う。 ○ 自己・他者理解、支え合う集団づくりの推進について、各校の実態に応じた指導助言を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が学期合計10日を超えた段階及び年度合計20日を超えた段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。
	江田島の 「食」につ いて知り、故 郷への愛着 や誇りを育 てる。	児童生徒が地 場産品を知っ ている割合の 増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用するとともに、学校給食だよりや各学校の食育担当による取組により児童生徒への周知を行う。 ○ 市長部局（健康推進課）と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。
生涯学習	歴史資料 館の活性 化を図る。	学びの館、大柿 地区歴史資料 館（灘尾記念文 庫）の来場者数 の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「瀬越憲作展(仮称)」を行う。（大柿地区歴史資料館） ○ 文化財等の展示企画を充実させる。 ○ 歴史に関する講座を企画する。 ○ 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。（学びの館） ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。
	公共スポ ーツ施設 の利用促 進を図る。	スポーツセン ターの利用者 数増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 ○ スポーツイベントに合わせ、パブリックビューイングを開催する。 ○ 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組む。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。
	図書館の 充実を図 る。	図書館年間貸 出冊数の増加 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録のため、「読書貯金通帳」配布に加え、HP「My本棚」等の活用もPRする。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 ○ 図書の受渡し窓口（貸出・返却）の拡充を図る。